

令和6年度 学校教育目標等

教育局	釧路	学校	北海道厚岸翔洋高等学校	課程	全日制課程
-----	----	----	-------------	----	-------

1 学校教育目標

北海道厚岸翔洋高等学校の生徒として自覚と誇りを持ち、未来に翔く人の育成を目指し、

- 学びの目的を理解し、学びの喜びを実感できる人を育む
- 課題を発見し、自ら進んで解決に取り組む人を育む
- 自他の違いを尊重し、多様な他者と協働することができる人を育む
- 心身ともに健康で、持続可能な地域社会の創り手となる人を育む

2 スクール・ミッション

- (1) 個々の生徒の特性等に対応した学習指導及びキャリア教育を通じて、主体的な進路の選択決定をするための資質・能力を身に付けた生徒の育成
- (2) 郷土を愛するとともに、地域産業の持続的な成長を担う職業人に求められる資質・能力を身に付けた生徒の育成

3 3つの方針（スクール・ポリシー）

○育成を目指す資質・能力に関する方針
<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会人・職業人としての基礎となる知識・技術 ○ コミュニケーション力 ○ 協働する力 ○ 自己管理能力 ○ 思いやり ○ 思考力 ○ 道徳心 ○ 自己肯定感
○教育課程の編成及び実施に関する方針
<ol style="list-style-type: none"> (1) 本校が育成を目指す資質・能力を着実に育む教育課程を編成・実施する。 (2) 基礎・基本の重視とともに、生徒の能力の最大限の伸長を図る教育課程を編成・実施する。 (3) 地域と連携し、地域の特性や教育資源を活かした教育課程を編成・実施する。 (4) 普通科では、生徒の多様な進路希望の実現を図る教育課程を編成・実施する。 (5) 海洋資源科では、水産・海洋関連の職業人としての基盤を培う教育課程を編成・実施する。
○入学者の受入れに関する方針
<ol style="list-style-type: none"> (1) 何事に対しても意欲的に取り組み、自らを高めるために学び続けようとする生徒 (2) 自他を尊重し、周囲への貢献意識を持って主体的に行動しようとする生徒 (3) 普通科においては、広い視野から将来の目標を見つけ、その実現に向けて意欲的に挑戦しようとする生徒 (4) 海洋資源科においては、水産・海洋への興味・関心を持ち、水産物の生産または調理に関する専門的な知識・技術の習得に努めようとする生徒

4 指導上の重点事項

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> (1) 基礎的な学力の定着・向上に向けて、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に取り組む。 (2) 育成を目指す資質・能力を着実に育むことができるよう、総合的な探究の時間や特別活動の充実・発展に取り組む。 (3) 地域や関係機関等との連携、及び地域の特性や教育資源を活かした教育活動を推進する。
学習指導	<ol style="list-style-type: none"> (1) 指導と評価の一体化を踏まえた、授業と観点別学習状況評価の改善を進める。 (2) 学びの道具としてのICT機器の効果的な活用に向けて、実践と研修を推進する。 (3) 総合的な探究の時間の学習内容・実施体制の充実・発展に取り組む。
生徒指導	<ol style="list-style-type: none"> (1) 生徒が自発的、自律的に適切な行動ができるよう、自己指導能力の育成に取り組む。 (2) 全職員の協働と情報連携により、一人一人の生徒の成長を適切に支援する。 (3) 特別活動等を通じて主体性や豊かな人間性を育み、よりよい集団づくりを進める。
進路指導	<ol style="list-style-type: none"> (1) 各学年との連携のもと、3年間を見通した系統的・組織的なキャリア教育を推進する。 (2) 外部の人材・機関等の活用により、主体的に進路選択・実現できる資質・能力を育てる。 (3) 多様な進路希望に対応できるよう、ガイダンス機能や組織的支援体制の強化を図る。
健康安全・指導	<ol style="list-style-type: none"> (1) 感染症対策を適切に実施するとともに、生徒の自己健康管理能力の向上に取り組む。 (2) サポート委員会を核とした全職員での生徒支援体制づくりを進める。 (3) 防災や安全に対する意識を高め、自ら安全を確保できる資質・能力を育てる。